



意思疎通を円滑にするために用意されている
▲コミュニケーションカード
▼筆談ノート



三木サービスエリア下り線
株式会社ダイナックパートナーズ
営業本部課長 佐藤慎介さん

三木サービスエリア下り線
株式会社ダイナックパートナーズ
近藤さおりさん



障がい者に接する立場から

困っている人を見たときに、 一歩を踏み出せるか

聞こえない方への支援に取り組み
れたきっかけは？

佐藤さん 新入社員時代に耳が聞こえないお客様を前に、コミュニケーションが図れず無念さを感じ

ていたときに、当時の上司が手話を使って意思疎通を図っている姿を見て、自分も誰かの役に立てる存在になりたいと思いました。昨年の春に三木市に赴任し、市が手話啓発講座を実施していることを知り、聞こえない方への配慮を磨くのは今だと思いい、施設内で参加者を募って申し込みました。

取組をはじめてから変化したこと
は？

近藤さん 実際にコミュニケーションを取ってみるとすごくお喋りな方がおられたり、私が知らない世界を見てこられた方がおられるので、もっとお互いの情報を共有していきたいと思うようになりました。

はじめての声掛けのハードルはどのように超えたらよいですか？

佐藤さん 聞こえない方に限らず、困っている人を見たときに一歩踏み出すことが大事だと思います。常に考えておくことが、いざというときの対応につながります。

近藤さん 手話を学ぶまでは、聞こえない方との意思疎通が必要となった場面で、「相手に迷惑がかかるとかもいけない」と思って踏み出せないことがありました。手話啓発講座で先生に言われたのは、「まずは伝われば良い」ということ。手話が伝わらなかつたら筆談でも良い、視線を合わせていくだけでも気づけることがたくさんあることを知り、分からなくても一歩前に出てみたことで、交流を広げることができました。

「手話啓発講座」受講団体を募集中

聴覚障害や手話についての理解を深めるための出前講座を開催しています。

- ▶対象 参加者が小学4年生以上の団体
- ▶募集期間 随時
- ▶申込方法 開催の2カ月前までに以下まで連絡してください。

問 (市)障害福祉課 障害者支援係

誰もが暮らしやすく。私たちにできること——

手話通訳者の立場から

信頼関係 があつて こそその 手話通訳

市には手話によるコミュニケーションを必要とする聴覚障がい者の来庁に備えて待機している設置手話通訳者がいます。個人・団体からの派遣依頼に対応するほか、生活支援、手話の啓発講座などの調整も行っています。

大切にしていることは？

相談者は不安を抱いて来られるため、秘密は厳守し、安心して話ができる雰囲気づくりを心がけています。それが信頼関係に結び付けば、より有効的な支援につながると考えているからです。

今後の思い

聴覚障がい者は音声情報を取得できないことから、取得できる情報量が聞こえる人の10分の1程度

要約筆記者の立場から

より快適な暮らしに向けて、 遠慮なく相談を

市では、設置要約筆記者を配置し、筆談を必要とされる方の相談・手続きなどの通訳や、通訳者派遣、啓発講座などの調整を行っています。また、令和4年度からスタートした「聞こえの啓発講座」では、筆談のコツや難聴者体験などを通して、聞こえない人と聞こえる人の距離が少しでも縮まるよう、啓発を行っています。

意外と気づかない聴力の低下

難聴者や中途失聴者は、聞こえにくくなっていることに気づいていない場合も多く、早めの相談がより快適な暮らしにつながる可能性があります。楽しんで暮らすために、どんな要約筆記を活用してほしいです。

聞こえる人も要注意
増加する若年性難聴

スマートフォン
の普及に伴い、イヤホ

「聞こえの啓発講座」受講団体を募集中

難聴・中途失聴についての理解を深め、筆談や要約筆記の啓発を行う出前講座を開催しています。

- ▶対象 参加者が小学4年生以上の団体
- ▶募集期間 随時
- ▶申込方法 開催の2カ月前までに以下まで連絡してください。

問 (市)障害福祉課 障害者支援係



設置要約筆記者
坂田 明代さん



設置手話通訳者
稲垣 美香さん

9月24日は手話まつり

手話体験や手話での絵本の読み語りなどを通して、手話に親しんでもらうためのイベントを開催します。

- ▶日時 9月24日(日) 午前10時~午後4時
- ▶場所 中央図書館
- ▶内容 手話での絵本の読み語り、手話体験、謎解きゲーム など

問 (市)障害福祉課 障害者支援係

9月23日は 手話言語の国際デー



9月22日(金)~28日(木)
市役所正面玄関前オブ
ジェなどでブルーライ
トアップを実施!